

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第476号 平成24年8月



『朝顔』
田村啓彦

目 次

	頁		頁
1) 宮川栄次先生を偲んで	松原貞一 … 2	9) 連載企画 肥満の背景とは	鹿児島武志 … 13
2) 感染症だより	西多摩保健所 … 3	10) 学術部インフォメーション	学術部 … 14
3) 都道府県紹介	馬場 潤 … 4	11) 糖尿病教室開催報告	野本正嗣 … 16
4) 第12回会館建設準備委員会報告	小机敏昭 … 5	12) 糖尿病協会の活動について	高村 宏 … 16
5) 100周年記念誌の進捗状況について(その2)	鹿児島武志 … 6	13) 在宅医療連絡会第3回・第4回報告	川口卓治 … 17
6) 専門医に学ぶ	藤巻亮二 … 8	14) 理事会報告	広報部 … 18
7) 広報だより		15) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 22
新東名インプレッション	鈴木寿和 … 10	16) 表紙のことば	田村啓彦 … 24
8) 西多摩医師会「納涼の夕べ」開催	福祉部 … 11	17) あとがき	松本 学 … 24
		18) お知らせ	事務局 … 25

追悼

宮川栄次先生を偲んで

謹んで宮川栄次先生のご逝去を悼み、ご冥福を祈ります。

六月十三日朝医師会の連絡FAXで宮川先生が急逝されたことを知り、余りにも突然の訃報に、目のくらむ思いがいたしました。四月の始めには、保険医協会の幹事会で元気に話をされ、ビールも飲んでおられたのに。その後体調を壊された由伺っておりましたが、リンパ腫は薬もよく効く腫瘍であるので、その内きっと元気になられて、ゴルフも出来るようになるのではと思っていました。後で伺ったところによると、当初諸検査の結果も薬の効き易いタイプということで安心していただけそうですが、治療を始めてみると意外に薬に対する抵抗性が強く、症状は悪化の一步を辿り僅かニヶ月足らずの経過で急逝されたと知りました。予想外の経過に、医療の専門家である先生の心身の苦しみを察すると、友人として胸詰まる思いがいたしました。

宮川先生は私と同じ年齢の昭和五年生まれの八十一歳で、漸く昨今の平均寿命を越えたばかりでした。千葉大学医学部を卒業され、立川の米国空軍病院でインターン後、東京女子医大外科や米国カリフォルニア州の病院で研修を積まれ、昭和三十五年帰国と同時に大聖病院の院長に就任されました。爾来五十一年余の間、西多摩地区救急医療の要として努力され、病院の発展に努めて来られました。先生の地域医療特に救急医療に対する熱意は頭の下がる思いで、病院の院長として率先垂範最近まで夜間救急にも対応されてい

たと聞き、その功績は高く評価され、二度にわたる都の表彰を受けています。

また先生は地域の社会活動にも熱心に参加され、ロータリークラブや西医協などにも多くの人脈を持っておられました。昭和五十一年より医師会理事になられ、平成八年より四期八年に渡り医師会長として、会の改革、発展に努めていただきました。先生が会長になるまでは、会にも派閥があり、いろいろ問題が散発しておりましたのに、宮川会長になってからは急に医師会も穏やかな会になり、運営も和やかになりました。先生の和を大事にする生き方が、会の運営にも活かされる所大であったと思います。

先生は趣味として絵を描くことも上手で、自作を病院の一隅に飾る程でしたが、趣味の一番はゴルフでした。最盛期にはシングルになったこともあったようで、医師会コンペではいつも笑顔で挨拶をし、賞品を渡していた姿が忘れられません。先生のしなやかなスイングフォームは、私の羨望の的でもありました。

大聖病院は現在来年を目標に、救急病院として新病院を建設中です。新病院完成を前での急逝、さぞ無念であったと思います。先生にはまだやりたいことも多々あったとは思いますが、先生には、仕事の面でも余暇の面でも、人の二倍は生きて来たと思います。どうか安らかにお眠り下さいませようお祈りいたします。

松原 貞一



感染症だより

〈全数報告〉

第24週(6.11-6.17)から第28週(7.9-7.15)の間に、管内医療機関より以下の報告がありました。

(二類感染症) 結核 11件(肺結核 10件、結核性胸膜炎 1件)

(三類感染症) なし

(四類感染症) つつが虫病 1件

(五類感染症) アメーバ赤痢 1件

〈管内の定点からの報告〉

	24週	25週	26週	27週	28週
	6.11～6.17	6.18～6.24	6.25～7.1	7.2～7.8	7.9～7.15
RSウイルス感染症			1	1	
インフルエンザ	1				
咽頭結膜熱	3	1	2	2	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	9	22	12	15
感染性胃腸炎	30	44	28	42	26
水痘	7	8	12	4	6
手足口病	2	1	2	4	3
伝染性紅斑	2		1		1
突発性発しん	6	2	4	4	6
百日咳	2				1
ヘルパンギーナ	1	2	10	16	34
流行性耳下腺炎			3		
不明発疹症					
MCLS					
急性出血性結膜炎					
流行性角結膜炎	1				
合計	66	67	85	85	96

基幹定点報告対象疾病〈細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病を除く)〉

報告はありませんでした。

〈コメント〉

① 結核の集団感染の発生について、都はプレス発表をしています。

管内の精神科病院の認知症病棟で、入院患者、職員が結核に集団感染する事例が発生しました。他人に感染させるおそれのある患者は入院治療中で、感染が広がる可能性はありません。

日本はまだ、結核の中まん延状態にあり、都内でも新規患者の発生が年間三千人以上あります。特に集団生活の場所となる施設等においては、健診の実施と、咳・たんが続く場合など、結核が疑われる症状があれば、直ちに医療機関の受診を促すなど、早期発見と感染予防につきお願いします。

② 風しん患者の急増について、都はプレス発表をしています。

近畿地方では、本年1月から5月末までの間に患者報告数が増加しており、都は、6月14日に注意を喚起しましたが、都内での患者数が急増しており、7月12日に再度、注意を喚起しています。都内では第1週から28週までの患者報告数は142件で、流行の中心は予防接種歴のない30代の男性で、10代、20代の報告数も増加しています。管内では、第1週から28週までの患者報告数は1件で、20歳代、予防接種歴は不明です。

風しんは、主に咳やくしゃみにより感染します。症状は2～3週間の潜伏期間を置いて、発熱、発疹、リンパ節腫脹などが出現します。基本的には予後良好ですが、風しんに対する免疫を持

たない妊婦が妊娠初期に感染すると、先天性風しん症候群の児が生まれる可能性がありますので、十分ご注意ください。

③ ヘルパンギーナ患者の急増について、都はプレス発表をしています。

夏に流行する子供の感染症であるヘルパンギーナの患者報告数が増加しています。都内では、第28週の定点あたりの患者報告数が「8.04」で、流行警報の基準を超えたため、7月19日に注意を喚起しています。管内では、第26週から患者報告数が増加しており、第28週の定点あたりの患者報告数は「4.25」となっています。

ヘルパンギーナは主に咳やくしゃみにより感染します。また、便の中にもウイルスが含まれるため、トイレの後やおむつの交換の後、食事の前には手洗いをしっかりとしてください。

文責：東京都西多摩保健所保健対策課

都道府県紹介



第2回 沖縄県

二俣尾診療所 馬場 潤



全国津々浦々「都道府県の紹介」の記事の企画とのこと。そんな中、私には沖縄県の紹介が回ってきました。

私は生まれも育ちもこの西多摩の地、五日市です。そんな自分が沖縄県のことを記させていただくのですが、本来は沖縄県出身の先生方が紹介すればより深く、よりコアな情報とかもあるかもしれませんが、そのあたりはお許し下さい。

さて、私が沖縄の地を訪れることになるのは、1985年（昭和60年）の琉球大学医学部入学の年に遡ります。そこからの6年間に経験したことに基づいて述べてみたいと思います。

沖縄は日本で唯一亜熱帯気候の地域です。まず、4月から私にとっては容赦ない暑さと日差しの洗礼を受けます。部屋のクーラーは夏になってからでいいと思っていたところ、あえなく挫折。4月下旬にはクーラーを設置しました。

また飛行機の窓からも、海が青いのに驚きだったのですが、実際沖縄地元の友達に、沖

縄のビーチに連れて行ってもらったのは、入学一ヶ月もしない5月8日のことでした。連れて行ってもらった所は新原（みーばる）ビーチと言う所でした。今は結構観光化されているようですが、その頃は本当にひとけがなくて遠浅の真っ青な海でした。紫色やら、カラフルな色の熱帯魚が肌に触れてくるのです。「きれいだー!」の一言しか出ませんでした。（豊かな自然環境）

ふだんの生活においては、いわゆる『沖縄タイム』について。今はモノレールが出来ているのでそこまでではないと思いますが、飲み会の席の集合時間は平均21時頃。そして幹事が到着するのがだいたい30分後、実際会が始まるのは1時間遅れ、全員が揃うのはさらに1時間後くらいで、それでも誰も文句を言う者はなく、そのまま2次会になろうかと和気藹々と楽しい語らいが午前3時4時まで続いたのが当たり前でした。

交通手段について。（モノレールがまだなかった頃。）私達、特に学生や一般の人達にとっての主たる手段は路線バスでした。これも非常にユニークなものです。始発ターミナルには、バスの発車時刻は時刻表にちゃんと書いてあ

るのですが、途中の停留所の時刻表には予定時刻が書いてないのです。つまり、乗りたいバスが来たら手をあげ、猛烈なスピードで行き過ぎて、その先に止まったバスに走って追っかけ乗り込むことが多々ありました。(笑) (独特な精神風土)。※『テーゲー。ナクルナイサ。イチャリバチョーデー。』など。

オーバー、オジー言葉。確かに100歳以上の百寿者の方達は多いです。外来の問診などは100歳の方の通訳が娘の80歳。80歳の方の通訳がその娘の60歳。そしてまたその娘の40歳の通訳の方から問診取ったりしました。ちゃんと4世代で来てくれますので。

(共存性社会)

さて、この様な沖縄も長寿県日本1と呼ばれて久しいのですが、最近皆さんもご存じの方もいらっしゃると思いますが、「沖縄クライシス」と呼ばれ、特に沖縄男子の平均寿命は1位の座を譲り大きく落ち込みました。65歳以上の平均余命はまだまだ1位とされていますが…。その原因は食生活習慣の急速な悪化と運動不足ということがほぼわかっています。

私も家庭教師をしていて思ったのですが、昼食とかおやつとかにハンバーガーやフライドポテトとか実に多いのです。(沖縄の子はパンと言っていました。) その結果、肥満と生活習慣病が急増しているようです。戦後幼

少期から米国型ライフスタイルの影響を受け、某ハンバーガーショップの売り上げ日本一を誇っているお店も沖縄にありました。

成人病が生活習慣病だと日野原重明先生が提唱されてから、私達も生活習慣病に対して市民健診等で携わっている立場ですので、いろいろな意味でも「沖縄クライシス」に学ぶべきところがあるのではないのでしょうか。

“腹八分に病なし” “腹八分に医者いらず” などと耳にします。

“流れる水は腐らず” “動く扉は朽ちず” ともいいます。

そして、“※” でしょうか。

※はそれぞれ、『適当に、いい具合に。なんとかなるさー。一度会えば皆友だち。』みたいな感じです。いい意味で楽観主義、あれこれと悩まないと言うような感じです。

ここまで沖縄の思い出と、雑感を述べさせていただきました。

皆さんもぜひ時間を作っていただいて、沖縄の自然とよき文化に触れるために、沖縄を訪れてみて下さい。きっと、リピーターになりますよ。沖縄は単なる、南の島、ではなく西多摩と同じ日本という事をお忘れなく。

第12回会館建設準備委員会報告

委員長 小机 敏昭

平成24年6月28日(木)午後7時45分～9時30分、西多摩医師会館において第12回会館建設準備委員会を開催いたしました。出席委員は各地区長(野本・山川・田坂・小机・蓼沼・小林・田原)、会長経験者(松原)(敬称略)で、議題は(1)土地売買契約書について、(2)新会館建設の予算と設計について、とし、以下の討議結果となりましたのでご報告いたします。

(1) 青梅市財務部契約管財課管理係より平成24年6月15日付で提示された青梅市所有の所在地「青梅市東青梅1丁目167番12、地積720.55㎡」の土地売買契約書について、原文通り

の内容（売却額 9000 万円）で承認し、実行時期については、医師会の予定、建設にかかる期間等を考慮し 7 月中に契約準備を整えるという結論を得ました。

(2) 新会館建設計画について、予算は約 7000 万円、設計概要については、計画建物と駐車場の配置図、1 階（事務室・控室・応接室・会議室・書類保存庫等）・2 階（講堂・什器倉庫等）の平面図（1 階 45 坪、2 階 45 坪）、安全面、バリアフリー、屋上太陽光発電、床暖房、建物は耐震構造を重視し鉄筋コンクリート造等について検討、様々なご意見をうかがいました。修正内容を図面におとしもらい、基本計画・基本設計の作成へ向け検討を進めることになりました。

次回委員会は 7 月 31 日（火）午後 7 時 45 分より医師会館で行います。

--- 100 周年記念誌の進捗状況について（その 2） ---

100 周年記念誌編集委員会 鹿兒島 武志



100 周年記念誌編集委員会では、平成 21 年より定期的に委員会を催し、現在のところ、おおむね以下のような内容を、掲載予定としています。編集の基本姿勢としては、なるべく多くの会員の先生方に興味を持って読んで戴けるような内容を目指して臨んできました。

創立 100 周年記念式典

西多摩医師会館建設の流れ

西多摩医師会 100 年の歩み

随想（エッセイ集）

同好会紹介

会員紹介

編集後記

今月号では「西多摩医師会 100 年の歩み」の記事より一部を紹介します。

このシリーズでは創立時代より創立 80 周年までをくくりとして、山田正哉先生の書かれた会報掲載記事を 80 周年の時と同様に採用しております。理由は、他に優れた資料がなく、内容も仔細にあたっているためです。さらに 80 周年以降は医師会の動きを主に掲載するために医師会長の年頭の挨拶を中心にまとめてみました。実際には前年度の出来事が述べられています。

今月号では、6 月に御逝去された福生の宮川栄次先生の会長時代を振り返ってみました。先生は平成 9 年より同 16 年まで長きにわたり会長を務められました。年頭の挨拶 Key Word をみてみますと 8 年間で様々な医療界・西多摩医師会の歩みが見られます。一部は前年度に起きた事項も含まれております。付属の年表により、時系列に並べてあります。

平成 9 年

大腸菌による集団感染発症、薬害エイズ問題騒動

老人慢性疾患外来総合診療科新設、小児科外来の包括化（定額化は医療費減額につながる）

特定医療費の制定（200 床以上の病院）

医師会で定款施行規則改定検討委員会、互助会あり方委員会設置さる。

平成 10 年

医療福祉保健協議会が設置さる。(医療保険老人保健制度の審議)
診療報酬体系と薬価基準制度の見直し。医療保険改革法案通過。
介護保険法案成立す。(12 年からの応用)
医師会でニューメディア委員会の設置 (情報システムの構築)。
西多摩地域産業センターが発足す (9 年 7 月)

平成 11 年

バブル不良債権による金融界の未曾有の大不況起こる。
医師会会員の政治・選挙への意識を高めよう。「医政なくして医療なし」

平成 12 年

診療報酬実質 0.2%のアップとなる。
医療情報開示の法制化決定。(カルテ記載)
介護保険スタートす。(4 月より)
西多摩救急医療体制及び乳幼児特殊救急事業は順調に進む。

平成 13 年

健康保健法の改正 (老人一部負担の実施) 定額制・定率制の選択さる。
医師会でニューメディア委員会順調に活動その他以下も開催される。
医療推進連携事業 (病院、診療所のネットワーク構築し、ホームページに空きベッド情報・診療機能を開示化する)
地域福祉活動を重要視の方針。(市民公開講座、ふれあいコンサート)

平成 14 年

同時多発テロ勃発、狂牛病事件起こる、高齢者インフルエンザ接種施行。
医療費削減 (診療報酬は 1.3%の削減) となる。
福生病院公立化、阿伎留病院増床、青梅市立総合病院救急救命センター開設さる。
西多摩医師会ホームページ作成、産保センターは順調に推移する。

平成 15 年

診療報酬 2.7%削減、高齢者一割自己負担 (一部 3 割) となる。
基準病床数の改正が施行された。西多摩の療養型病床数 (西多摩の基準病床数は 3923 床だが、すでに 4492 床)

平成 16 年

創立 90 周年記念式典盛会に終了した。
医療費 1%削減となる。
西多摩療養型病床数は全病床数に対する比率が全国や都に比して高い。
都の医療機能連携推進事業が最後の年となる。

専門医に学ぶ 第91回

問題

【症 例】 42 歳 男性 軽作業職

【主 訴】 右手関節痛

【既往歴】 特記すべき事項なし

【現病歴】 2011 年 8 月ごろから外傷等の明らかな誘因なく右手関節痛が出現。様子を見ていたが次第に疼痛が増悪し、仕事の継続が困難となったため、近医受診後 2011 年 11 月当院紹介初診となった。

【現 症】 手関節可動時に手関節背側に強い疼痛がある。右利き。

手関節可動域 背屈 70 度 掌屈 30 度

回内 80 度 回外 90 度

握力 右 11kg 左 41kg

【画像所見】

Fig. 1 初診時単純 Xp



Fig. 2 手関節 MRI T1 強調像



問題 考えられる疾患は何か？

解答と解説 公立福生病院 整形外科 医長 藤巻 亮二

解答 キーンベック病

解説

キーンベック病は月状骨の無腐性壊死であり、月状骨軟化症とも呼ばれる病気です。20 歳から 50 歳代の男性に好発し、男女比は約 3 ～ 4 対 1 程度です。原因は不明ですが、大工職などの手

を良く使う人に発症が多い事からも、繰り返しの外力による微小外傷説が有力です。初期の症状としては手関節の可動時痛、運動制限があり、進行すると握力の低下が見られます。月状骨に一致して圧痛があり、特に背側に疼痛を訴える場合が多いです。

単純X線像では月状骨の硬化や圧潰像が典型的な所見ですが、4つの病期分類に分けられません (Lichtman 分類 Stage1: 異常なし、stage2: 月状骨の硬化像、stage3a: 月状骨の硬化像に加えて分節化、圧潰像、stage3b: 3aの特徴に加えて手根骨の配列異常が見られる。stage4: stage3の特徴に加えて隣接関節の変形性関節症を伴う)。

本症例のX線像では顕著な月状骨の硬化、圧潰像が見られますが、舟状骨-月状骨間の回旋変形は明らかでないため (Fig. 1)、キーンバック病 (stage3a) と診断できます。

本症例のように病態が進行している場合は、X線像から診断は比較的容易ですが、特にX線像で異常を示さない早期の症例の診断にはMRI像が有用です。月状骨はT1強調画像にて低信号像を呈します (Fig. 2)。

また画像上明らかなキーンバック病であっても、時に無症状である場合もあり、治療の対象となるか (本当にキーンバック病由来の疼痛であるかどうか) 注意が必要です。

治療

基本的には手術的加療が中心となります。ごく早期 (Stage1) の症例や手術加療を拒まれる症例に対しては外固定などの保存的加療を行いますが、効果が見られないのにいたずらに保存的加療を長引かせる事で病期を進行させる事は避けるべきであると考えられます。

手術方法は多岐に及びますが、①月状骨の血行再建術 ②月状骨に対する除圧術 ③月状骨の摘出、置換術 ④部分手根骨間関節固定 ⑤ salvage 手術 (手関節固定、近位手根列切除など) の5つに大別されます。

病期に基づいて術式が選択されますが、諸家により異なりますので本稿では詳細は省かせて頂きます。

本症例は stage3a で、ulnar minus variant (尺骨が橈骨より短い) ですので一般的には橈骨短縮術の適応となります。橈骨が 1mm 程度尺骨より短くなるように 3mm ほど短縮した上で plate 固定し、月状骨の再血行化を目的として肘頭から採取した骨釘を月状骨に移植、さらに舟状骨-有頭骨間を K-wire で仮固定しました。(Fig. 3) 術後 6 ヶ月時点で疼痛は完全に消失し、可動域は背屈 80°、掌屈曲 75°、回内 80°、回外 90°、握力は 35kg と回復しており、以前の軽作業職に復帰されています。

キーンバック病は病期が進行すると手術的加療を行っても完全な症状の寛解を得る事は難しくなりますが、今回提示した症例は開業医さんを受診後、すぐにご紹介頂いた患者さんで良好な治療結果を得る事ができました。

Fig.3 術後 xp 像



広報だより



新東名インプレッション

瑞穂町 すずき瑞穂眼科 鈴木 寿和

皆さんもご存知の通り4/14新東名が御殿場から三ヶ日間で開通した。静岡県のはぼ全土を横断する全長 157.4kmである。12箇所のインターチェンジ (IC) があり、途中の清水を含め3箇所のジャンクションで並行して走る従来の東名高速と連絡している。

カーブ最小半径が同区間の東名高速では300mのところ新東名では3000m、坂道は最大勾配が5%のところ2%と、カーブや勾配が少ないため約10km短縮されている。そのため高速料金も普通車が東京一名古屋間で200円お得である。

またトンネルのライトが進行方向に向いているため前方を走る車の後面がみやすくなったり、2km間隔で道路にカメラが設置されており自動的に事故などが検知されカーナビ等に情報提供がされるなどの最新の技術が導入されて走りやすく安全性にも優れた造りになっている。(我が家のボロ車のナビでは道路自体存在していなかったが…)

日本道路公団から民営化されて以来、高速道路のサービスエリア・パーキングエリア (SA, PA) の充実が話題になることも多いが、この新東名にも6箇所の SA、7箇所の PA がオープンしている。中でも NEOPASA (ネオパーサ) と名づけられた SA は多彩な商業施設やフードコートなどをはじめイベントスペースなどがあり、オープン前からマスコミに取り上げられている。

私は7月の連休に家族と浜松まで潮干狩りに行くため新東名を使ってみました。連休の土曜日なので当然のように横浜町田IC から渋滞25kmでしたが、新東名に入るとスムーズに流れていました。以前大学から出向で浜松に行っていたので毎月のように東名を使っていましたが、新東名はとにかく走りやすく

疲労度がまったく違う事に驚きました。あと2車線は増やせそうな幅の路肩があり、視界が良いためか気がつくところには書けないスピードで走っていました。私に限らず全体的に走行している車のスピードが速かったと思います。現在オービスの設置はされていないようですが、いたる所に「覆面パト取締り中」の看板がありました。スーパーカーの先生方のご用心を。

途中駿河湾沼津と浜松の SA に寄りましたが、どちらも満車で人が溢れていました。テレビで話題になったものを買って求める行列がいたるところにあり、本当に休憩するために寄った人にはかなり迷惑な状態だと思えます。

帰りは東名では何箇所か事故が発生していたようだが、新東名は事故も無くスムーズに流れていました。ところが海老名 SA からの渋滞が事故も重なって35km2時間以上でぐったりしてしまいました。結局今回の開通では必ず渋滞する海老名 SA 付近などは含まれません。せめて厚木まで圏央道が完成し、そこまでつながってくれば良いと思うのですが2020年完成予定だそうです。欲をいえば外環道ができてそこまで伸びてくれれば言う事なしなのですがここまで来ると生きている間には実現しないでしょうね。

さて良い事尽くしの新東名ですが主に山の中を通過しているため IC からの主要都市へのアプローチが悪かったり、景色が単調だったりと難点もあります。実際に御殿場 JCT から新東名に入った車は3割程度だったのには驚きました。海も山も町も楽しめる東名と単調だが走行しやすい新東名といったところでしょうか。何にせよ日本の大動脈に選択肢ができた事は良い事だと思います。

第21回 西多摩医師会『納涼の夕べ』開催

今回で第21回となる「納涼の夕べ」が平成24年7月9日（月）にフォレストイン昭和館で開催されました。

平日月曜日のお忙しい所また梅雨期の蒸し暑い中、多数の先生方に参加して頂きました。

第一部では、公立阿伎留医療センター・乳腺外科長の松尾定憲先生に、「乳ガン診療の最近の動向」について御講演して頂きました。少々難しい内容でしたが質疑応答も行なわれ、大変有意義な講演会でした。

続いて隣の会場で第二部の懇親会が、横田卓史会長の挨拶で始まりました。

乾杯の音頭は公立阿伎留医療センター院長の荒川泰行先生にとって頂き、しばし親睦を深める歓談となりました。しばらく後、余興のハワイアンバンド（カオル・オハナ・バンド）による演奏と歌とダンスで一時的涼しさを満喫しました。

次の病院会員紹介では、公立福生病院・公立阿伎留医療センター・青梅市立総合病院・目白第 病院・青梅今井病院の順番で各先生方に自己紹介して頂きました。

ユニークな面白い話、大変な状況等様々でしたが、今まで各病院の先生方の顔と名前が一致しない面が多々ありましたので、大変良かったと思います。

次に前都議会議員の野村有信先生に突然のご挨拶をお願いし、機会があれば復職も考えているとのお話でした。会も終盤となり恒例のくじ引きが行われました。

景品は、19インチ液晶テレビ・任天堂3DS・コーヒーマーカー（ネスプレッソ）等実用的な電化製品を中心に18種類用意し、野本先生、コンパニオンの協力で手際よく行えました。当選者の喜びの顔が目に見えます。

最後に鹿児島武志副会長に閉会の挨拶をして頂き、無事お開きとなりました。

今回の企画・受付等で御協力頂きました医師会事務局の方々また色々助言して下さいました野本正嗣先生、写真撮影で御協力して頂きました小林康弘先生に感謝致します。

（文責：福祉部担当 朱膳寺洋文）

（写真：福祉部副担当 小林 康弘）







肥満の背景とは

青梅市 かごしま眼科 鹿児島 武志

メタボ健診（特定健診・特定保健指導）が2008年に施行されて久しい。肥満予防により生活習慣病が減少し、2兆円の予算削減になるという厚労省の目算もあるが健診費用の方が高くつくという意見もある。

肥満とはBMIが基準となるが25.0以上を過体重30.0以上を肥満とよぶが、世界的に見ておおよそ男女各々の約25%程度が肥満とされ、日本では肥満は人口の3%、アメリカではなんと30%もの人々がこの基準に該当するという。

先日、誌上で、食事は一日2食で十分という細川元首相の談話がのっていた。塩と亜麻仁油の選択には神経をことのほか使い、午前11時と午後5時の2回、自作のサラダ料理や蕎麦を食べてそれで十分だそうで、夜の会合の晚餐メニューの希望を問われても返事に困ることもあるという。週刊誌などで時折、陶芸や旅行記のエッセイを書かれているが悠々自適の身であるので逆に健康管理が必要なのかもしれない。

少食主義か、なるほど。一日2食に減食したら身がもつかないと思うが、我々も時には、午前の外来診療でモタモタしていると昼食を抜き午後に持ち込むこともある。あのタイミングを脳と体に覚えさせれば良いのだ。しかも長期間。……無理だろうが、妙に納得した。

書店の棚には相変わらずA級B級を問わず、グルメの紹介本が並べてあるが、最近では摂食してひたすら健康志向を目指す本がベストバイとして堂々の売り上げを誇っている。試しに手に取ってみると、お勧めの食事法とは朝抜きとか昼抜きとか様々のレシピがあるが、極めつけは朝昼抜きで夜にサラダ主体の料理を食すというベジタリアンを地でゆく、ハウツーものが目を引いた。丁寧なこと

に一食主義のおかげで結果として著者の脳年齢、血管年齢、骨年齢などが、実年齢よりはるかに下回り、極めて体調がよいという彼の解説がなされていた。過食をつつしみ体重を保持してゆくことが生活習慣病などの予防に大いに役立つという事実は否定できないが、反面ストレスが超えると却って過食にはする傾向があるという現象もありうる。

ところで個人レベルでの肥満が万病の元だけというならまだしも、国家レベルで肥満が社会問題となると世界の食料事情にも将来的に重大な食糧危機を招くことになる。ロンドン大学の研究チームがまとめた論文によると途上国の人口爆発により引き起こされる食糧危機については従来から懸念されているが、先進国に蔓延する肥満も同様に深刻な危機に陥るといふ。

体重が増えれば食料から摂取するエネルギーもより必要となる。食糧1トンは北米大陸に住む大人の約12人分に相当するが、アジア地域の大人に換算すれば約17人分に相当する。そして世界の人口の6%でしかない北米の人々の肥満が34%であるのに対して人口の61%を占めるアジアの肥満割合は13%に留まるという。最新の知見では脂肪センサー GPR120 受容体が食事性肥満の原因遺伝子で、脂肪の消費と蓄積を制御する司令塔であることが判明し、アミノ酸に変異のある GPR120 遺伝子をもつヒトの場合、高脂肪食を摂取すると正常人よりも1.6倍肥満になりやすいことが分かった。

アフリカ大陸の貧困が食糧危機を招くというが、アメリカ国内でも失業したり、就職できない貧困層の肥満が特に問題視されている。低収入所得者層の家庭に配布されるフードスタンプ、あるいは、学校での給食も内容

は、安価で高カロリーのジャンクフードの占める割合が多すぎるとされている。肥満人口が増加する根底には貧困問題が横たわっていて、犯罪行為の温床にもなりかねないので単なる健康問題では済まされない。

気象の変動により限られた水源、適切な環境などが、限られた耕作面積の中で、穀物の収穫量に大きな影響を与える。食糧危機は必需量と裏腹の関係にあり、供給量は、貧困を

惹起するその国の経済状況にも影響されることになる。貧困といっても、暴政による貧困ゆえに地球上で飢餓に苦しむ人々もいれば、大国ゆえに逆に肥満に苦しむ人々もいる。ズボンやスカートがきつくなったといって日々悩む程度の方が、日常的には案外幸せなのかもしれない。私にはやはり一日2食は無理のようだ。



学術部 Information



第20回西多摩消化器疾患カンファランスを平成24年6月19日に青梅市立総合病院南棟3階講堂で開催いたしました。当番幹事は、大河原森本医院・森本晋先生と青梅市立総合病院の野口修先生が担当しました。

特別講演として、武蔵野赤十字病院消化器科部長の黒崎雅之先生をお招きし、「B型肝炎診療の最新情報～フォローすべき患者・治療すべき患者の見分けかたと治療方法の選びかた～」というテーマでご講演いただきました。
(学術部)

『B型慢性肝炎の最新情報』

～フォローすべき患者・治療すべき患者の見分け方と治療方法の選び方～

武蔵野赤十字病院 消化器科部長 黒崎 雅之

C型慢性肝炎の病態は段階的に進行するのに対し、B型慢性肝炎ではALT値が正常の非活動性キャリアの症例からも発癌するなど、予想外の進行を呈することがあるため、ALT値が正常でも、定期的な血液検査、画像検査や治療適応の検討が必要である。

臨床の場では、ALT値のみに注目して治療適応を判断しがちだが、日本および海外の治療ガイドラインでは、ウイルス量とALT値をもとにB型肝炎に対する抗ウイルス療法の適応を判断すると規定している。厚生労働省研究班の基準では、HBe抗原陽性例ではHBV DNAが5logコピー/ml以上、HBe抗原陰性例ではHBV DNAが4logコピー/ml以上、肝硬変であればHBV DNAが3logコピー/ml以上が治療適応である。またALT値が正常範囲内でも31以上であれば治療適応である。

発癌のリスクを把握することは、治療適応のある症例を的確に同定するために重要である。データマイニングで解析したところ、40歳以上でHBV DNA 4.8 logコピー/ml以上、あるいは40歳以上で血小板数15万未満の症例は発癌のリスクが5年間で14-40%あり、さらにコアプロモーター遺伝子が変異型であれば、発癌率は14-50%であった。これらの基準に該当する症例では、

厚生労働省の治療適応基準には該当しなくても、発癌リスクを勘案すると抗ウイルス療法を行うべきであり、また発癌を意識した画像検査が必要である。

最近、HBs 抗原の量で発癌リスクが評価できることも明らかとなった。HBV DNA が 4 未満であっても、HBs 抗原量が 1000 以上の症例では 100 未満の症例と比較して発癌率が 5.7 倍であり、さらに HBV DNA が 5 以上で HBs 抗原量が 1000 以上だと発癌率が 13.3 倍になる。これからの治療は、HBV DNA の陰性化から、一歩進んで HBs 抗原の陰性化を目指す時代になった。

B 型肝炎に対する抗ウイルス療法にはインターフェロンと核酸アナログがある。核酸アナログは基本的には長期的な継続治療が必要である。10 年間継続治療を行うと約 10% の確率で HBs 抗原が消失する。一方、インターフェロンは 6 カ月から 1 年間と期限を限定した治療であるが、HBs 抗原を減らす作用は核酸アナログよりも強い。ペグインターフェロンを 1 年間予投与した後の HBs 抗原の陰性化率は 5 年で約 15% である。両者をうまく組み合わせて治療を行うことで、HBs 抗原の消失率を向上させる工夫が求められている。その一つとして、長期的な核酸アナログ治療で HBV DNA が陰性化している症例に対して、ペグインターフェロンを投与するシーケンシャル療法が試みられている。この治療はまだ端緒にすぎたばかりであり、大規模研究成績はないが、小規模の研究では約 13% で HBs 抗原が消失したとされている。

どのような症例をどのような薬剤の組み合わせで治療すべきかは、今後数年以内に明らかになると考えられる。

平成 24 年 6 月 28 日（木）青梅市立総合病院で講演会がありました。

青梅市立総合病院腎臓内科部長 木本成昭先生が座長をされ、「交感神経系からみた降圧治療」～N型 Ca チャネル遮断薬の魅力に迫る～ というテーマで東邦大学医学部 医学科薬理学講座 主任教授 杉山 篤先生にご講演いただきました。（学術部）

『N型 Ca チャネル遮断薬と交感神経』

東邦大学医学部 薬理学 杉山 篤

現在日本国内で 16 種類のカルシウム拮抗薬が市販されている。これらカルシウム拮抗薬を組織選択性と開発世代を基準に分類すると現場での使い分けに便利である。ジヒドロピリジンは血管拡張作用が強く降圧薬として臨床応用されているのに対して、ベラパミル類は心収縮力や房室伝導の抑制作用が強く、ジルチアゼム類は両者の中間の作用を持つ。一方、古典的ジヒドロピリジンである第 1 世代のニフェジピンは、①カルシウムチャネル蛋白からの解離が速い、②生体利用率が低い、③反射性交感神経緊張作用を有するという 3 つの課題を有していた。①と②はそれぞれ第 2 世代および第 3 世代のカルシウム拮抗薬により解決された。③に関しては、L 型カルシウムチャネルと N 型カルシウムチャネルを同時に遮断する第 4 世代カルシウム拮抗薬シルニジピンにより回避が可能である。N 型カルシウムチャネル遮断を介する臓器保護作用（脳・心・腎）が最近の基礎および臨床研究で証明されている。

糖尿病教室開催報告

西多摩地域糖尿病医療連携検討会



平成 24 年 6 月 28 日（木）午後 2 時から、西多摩医師会館において、記念すべき第 1 回糖尿病栄養指導教室が開催されました。講師は NPO 法人西東京臨床糖尿病研究会所属の管理栄養士 土屋倫子先生（当検討会委員でもあり、糖尿病療養指導士でもあります）をお願いをいたしました。

参加者は 27 名で主に糖尿病患者さんご自身で受講されていましたが、中には糖尿病患者さんを持つご家族、病院の管理栄養士さん、糖尿病予防目的にて参加された方もおられました。

講演は①食事と血糖の関係、②食品による血糖上昇の違い、③血糖を上昇させない食べ方の工夫、④果物、清涼飲料水の摂り方についての注意等、一般の方々に大変分かり易い、ポイントを押さえた内容で、一回完結型ではなく次回の糖尿病教室への継続性を持たせた、今後更にお話をお伺いしたくなるような素晴らしいご講演でありました。教室終了時には次回の予約をしていかれた方も数名いらっしゃいました。

講演終了後、講演内容の理解度・感想・要望等について、アンケートを提出して頂きました。今後の糖尿病教室の更なる充実のため、参考とさせて頂く予定です。

糖尿病教室は今後も毎月第 4 木曜日午後 2 時から医師会館において開催してまいります。糖尿病患者さん、患者の家族の方々への周知とご紹介をよろしくお願い申し上げます。

（文責 野本正嗣）

糖尿病協会の活動について

日本糖尿病協会は、1961 年（昭和 36 年）に結成された組織で、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発、患者及びその家族への教育指導、国民の糖尿病の予防、健康増進への調査研究を行うことを目的としています。現在、会員数 10 万人といわれ、糖尿病患者とその家族、医師、看護師・栄養士・糖尿病療養指導士などの医療スタッフが加入しています。糖尿病協会への加入申し込みは個人でも団体（患者会単位）でも出来ます。患者会は西多摩医師会圏内でも青梅市立総合病院の「梅の会」をはじめいくつかあります。個人では日本糖尿病協会のホームページから加入手続きが可能です。加入するといくつかのメリットがあります。

- ① 糖尿病専門誌「さかえ」が毎月送付されてきます。さかえを購読することで糖尿病の最新情報を得ることが出来ます。内容は患者さんにも医療職にとっても満足できるものです。当院では待合室に置いています。
- ② 糖尿病連携手帳や英文カード（海外旅行や出張時に役立ちます）を入手できます。ただし糖尿病連携手帳は西多摩医師会にも在庫があります。
- ③ 医師は協会に加入した後、一定の講習を受けスキルアップすることで、協会から糖尿病療養指導医としての認定を受けることが出来ます。

尚会費は個人加入であれば現在年会費 3500 円で、3 年分まとめて支払えば 7500 円ですみます。さて、糖尿病患者はいくつかの医療施設で診療を受けているのが一般的です。内科、眼科、整

形外科、皮膚科、脳外科、外科、耳鼻科、精神科など重複して診療を受けています。合併症の状態は専門の科でないと分からないことも多くあります。それぞれがより専門を活かして診療するには、血糖値、HbA1c、眼底所見などの情報の共有が不可欠です。糖尿病診療での情報の共有に最適なグッズが協会発行の糖尿病連携手帳なのです。今後大災害も予想され、糖尿病連携手帳とお薬手帳を持って出れば患者の助けにもなるでしょう。また糖尿病は教育の病気でもあります。今後医師からの十分な説明だけでなく、管理栄養士から栄養指導、薬剤師から服薬指導、看護師から療養指導を患者はますます求めてきます。ここにも患者情報の共有は不可欠です。患者が持参した手帳に医師が検査結果を記載し、さらに十分な説明をすることは糖尿病診療の基本と考えます。もし先生が忙しくて書けないなら、看護師が記入するでも良いと考えます。実は当院でも書いているのは看護師です。

(文責：福生市 高村内科クリニック 高村 宏)

在宅医療連絡会第3回報告



公衆衛生部長 川口 卓治

出席者 10名 西多摩医師会館 司会 酒井先生

1. 症例検討

三島先生 PSA 軽度上昇にも関わらず、全身骨転移を来した前立腺癌の一例
片倉先生、双葉会診療所と特養寿楽荘での医療、最近の例、看取り、死亡診断書、など

2. 名簿作成について

各医療機関に、アンケートをファックスし、名簿を作成し、行政、医療、介護関係に、配布する。配布先を、限定する。

往診、可、不可、条件付き可能、かかりつけのみ、窓口予約、電話予約、徒歩圏のみ、中学校区のみ、青梅市のみ、など 事情により、不可能な場合もあります。

訪問診療 可、不可、条件付可 計画的に月何回と決めて定期的に訪問する。

24時間対応について、可、不可、条件付可 24時間何らかの対応をとるが、往診は、対応できる時間が、限られている場合が多いので、事前に相談必要

3. 在宅相談窓口設置について

西多摩医師会事務局内に、設置する。

相談内容を、在宅医療連絡会で、相談する。

1. 主治医、かかりつけ医の斡旋、
2. 専門医の紹介
3. 診療方針、診療内容の相談
4. 在宅医療研修、講演会希望
5. 多職種の連携

西多摩医師会学術講演会 司会片倉先生

在宅医療における緩和ケア 症例を中心として

青梅市立総合病院 総合内科部長 高野省吾先生

1. 緩和ケアチームの紹介

緩和ケアは、ターミナル、ではない。悪性疾患と告知されたときから始まる全人的サポート、疼痛からの開放、身体的苦痛からの開放、スピリチュアルな苦悩に気を配る。チームの構成、活動内容、など紹介

2. 癌性疼痛に対する対処法

薬剤、とくにオピオイドの使い方、嘔気嘔吐、胸腹水、呼吸困難、鎮静についての説明

3. 在宅医療に移行できた2症例

ステロイド剤が、著効し、半年間在宅生活できた腎癌の1例

肺転移後、予後数週間と考えられた47歳の男性が、デカドロンの内服、在宅酸素で退院、温泉6回、イチゴ狩りなど、出かけることができた。

神経障害性疼痛をPCAポンプで在宅管理した子宮頸癌症例

左下肢の神経障害性疼痛に、PCAポンプを用いた疼痛管理で、在宅医療に移行できた。

在宅医療連絡会第4回報告

司会 片倉先生

1. 在宅医療機関名簿作成アンケート報告

2. 在宅等相互支援体制構築事業について

東京都医師会委託事業 地区医師会で、ひろく協力しあって、在宅医療ネットワーク、在宅相互支援チームを作っていく。

3. 後方病院、基幹病院との連携、バックアップのお願いについて、必要な情報シート、情報提供書を考えていく。

4. 保険点数についても話し合っていく。

次回第5回在宅医療連絡会は、7月17日火曜日 午後7時45分 西多摩医師会館にて

司会 三島先生、症例検討 進藤先生

<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px 20px; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">理事会報告</div> <div style="flex-grow: 1; border-bottom: 1px solid black; margin: 0 10px;"></div> <div style="font-weight: bold; font-size: 1.1em;">★ Information</div> </div>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 6月定例理事会 平成24年6月12日(火) 西多摩医師会館 </div>

【出席者：横田・鹿児島・野本・蓼沼・江本・川口・宮城・近藤・岩尾・小林・西成田・奥村・朱膳寺・安部・大堀・中野】

【1】報告事項

(1) 各部報告

公衆衛生部

在宅医療連絡会においてアンケートを行い、在宅医療機関名簿を作成することについて

総務部

6月27日に制度移行検討委員会、6月28日に会館建設準備委員会が開催されることについて

学校医部

6月8日の都医学校医会評議員会において、全会員から会費を徴収するよう要請があった未納者がいる場合は、再請求を行うよう事務局に指示があった

(2) 地区会報告（各地区理事）

青梅市 6月29日 定時総会

福生市

羽村市

あきる野市 6月13日 ポリオの対応検討会

6月18日 定時総会

瑞穂町

日の出町

(3) その他報告

- 東京都医師会第10回地域福祉委員会（5月24日 進藤 晃 委員）
- 東京都医師会第10回健康スポーツ医学委員会（5月26日 會澤 義之 委員）
- 東京都医師会第9回勤務医委員会（6月4日 進藤 晃 委員）

【2】報告承認事項

- (1) 入・退会員、会員変更について — 承認 —
- (2) 「第13回糖尿病予防講演会」への後援について（依頼） — 承認 —

【3】協議事項

- (1) 24年度東京都脳卒中医療連携推進事業に係る業務委託契約の締結について — 承認 —
- (2) 24年度東京都糖尿病医療連携推進事業に係る業務委託契約の締結について — 承認 —
- (3) 「糖尿病教室」開催に伴うNPO法人西東京臨床糖尿病研究会への後援許可申請提出について — 承認 —
- (4) 24年度地域産業保健事業に関する協定書の締結について — 承認 —

6月定例理事会

平成24年6月26日（火）

西多摩医師会館

〔出席者：横田・鹿児島・野本・蓼沼・江本・川口・宮城・近藤・岩尾・小林・西成田・奥村・朱膳寺・安部・大堀・中野〕

【1】報告事項

- (1) 都医地区医師会長連絡協議会

1. 都医からの伝達事項

1. 不活化ポリオワクチン導入に係る関係自治体担当者会議について
9月1日より、ポリオの定期接種ワクチンを生ポリオワクチンから不活化ポリオワクチンに一斉に切り替えることになった
2. 新型インフルエンザ特別措置法の公布について
新型インフルエンザ特別措置法が平成24年5月11日に公布された
本法では、法に基づく要請または指示に従って患者等に医療の提供を行う医療関係者に対する実費の弁償及び損害補償について明記された
3. 地域における虐待対応向上研修事業の実施について
平成24年度から、意見交換や質疑応答の時間に、地域の取り組みや工夫等に関する発言を可能とした
4. 不要になった水銀血圧計・水銀体温計自主回収実施計画書について
医師会員は、不要になった水銀血圧計・水銀体温計を地区医師会に持参する
処分料金は、水銀血圧計が1つ2100円、水銀体温計が1本1050円
産業廃棄物処理委託契約は東京都医師会がとりまとめを行うという案が示された
5. 精神疾患早期発見・早期対応推進研修について
6. 平成24年度東京都相互理解のための対話促進事業について
7. 東京都医師会主催第14回「日本医師会指導医のための教育ワークショップ」
参加者の追加募集について

2. 地区医師会からの報告

1. 中央ブロック（当番：小石川医師会）
2. 城東ブロック（当番：江東区医師会）
3. 城西ブロック（当番：目黒区医師会）
4. 城南ブロック（当番：大森医師会）
 - ① 品川区国保基本健診受診啓発プロジェクト キックオフイベント
(品川区医師会・荏原医師会)
5. 城北ブロック（当番：練馬区医師会）
 - ① 板橋区医師会病院開院45周年記念祝賀会及び耐震補強・改修工事完成
お披露目について（板橋区医師会）
6. 多摩ブロック（当番：西多摩医師会）
7. 大学ブロック（当番：東京医科歯科大学医師会）

(2) 各部報告

公衆衛生部 第3回・第4回在宅医療連絡会を開催した 第5回在宅医療連絡会は7月17日（火）19時45分から西多摩医師会館で行う予定

- 病院部 5月22日に病院部総会が開催され、会長が高木先生から進藤先生に変更になった
- 学術部 25年2月15日に「市民公開講座」を予定
6月25日の講演会（阿伎留医療センター）が中止となった
11月17日羽村市コミュニティセンターで「市民講座」を予定

(3) 地区会報告（各地区理事）

- 青梅市 青梅市内にてCKDネットワーク設立
- 福生市
- 羽村市
- あきる野市 6月13日 理事会 行政からポリオの説明
6月18日 総会
- 瑞穂町
- 日の出町

(4) その他報告

- 東京都医師会第11回救急委員会（6月18日 小山英樹 委員）
- 東京都医師会第11回地域福祉委員会（6月21日 進藤晃 委員）

【2】 報告承認事項

- (1) 入・退会会員、会員変更について — 承認 —
- (2) 「乳幼児保健に関するアンケート」（都医）の回答について — 承認 —

【3】 協議事項

- (1) 平成24年度東京都相互理解のための対話促進支援事業について
11月17日羽村市コミュニティセンターで開催予定の「市民講座」を事業対象として申請することが提案され決議された
- (2) 西多摩健康危機管理対策協議会委員の就任について（依頼）
鹿児島副会長・江本理事に就任頂くことが提案され決議された
- (3) 平成24年度東京都産業医の推薦について（依頼）
福生消防署産業医の推薦は、福生地区で決めていただくことが提案され決議された
- (4) 「第35回 青梅心電図勉強会のご案内」の発信について
「青梅心電図勉強会のご案内」を当会会員に発信することの可否について協議いただきたい旨の説明があり可決承認された

会員通知

- 会報
- 宿日直表(青梅・福生・阿伎留)
- 産業医研修会(9/29 東京医科大学医師会)
- " (9/9 東邦大学医師会)
- " (9/8 女子医大医師会)
- 医療保険の手引き(平成24年)
- 西多摩保健所医療安全支援センター研修会
- 東京都後期高齢者医療広域連合会「保険証」および「減額認定証」の更新について
- 西多摩医師会写真・絵画展
- 肝炎ウイルス検診を受けましょう
- 歯周病チェックリスト
- 青梅心電図勉強会(7/11)
- 公立阿伎留医療センター医局講演会中止
- 多摩医学会講演会について
- 第13回会館建設準備委員会開催について
- 公立阿伎留医療センター医局講演会(7/30)
- 第5回在宅医療連絡会開催について
- 学術講演会(7/6, 7/26, 7/27)
- 予防接種における誤接種の防止について
- 青梅市福祉事務所よりの情報提供
- 結核集団感染に係る情報について

//// 医師会の動き ////

医療機関数 216	病院 30	糖尿病・代謝・内分泌内科
	医院・診療所 186	准教授 西村 理明 先生
会員数 555	A会員 206	9日 保険整備委員会
	B会員 349	9日 納涼の夕べ
		12日 法律相談
会議		13日 糖尿病セミナー「症例から学ぶ糖尿病診療」
7月6日 在宅難病調整委員会		①SU剤とDPP-4阻害薬の併用により、低血糖発作を誘発したコンプライアンス不良な高齢2型糖尿病患者の1例
10日 定例理事会		青梅市立総合病院内分泌糖尿病内科部長 関口 芳弘 先生
10日 在宅難病訪問診療(青梅)		②当院に紹介された糖尿病患者の経過報告
17日 第5回在宅医療連絡会		高村内科クリニック
23日 IT委員会		院長 高村 宏 先生
23日 会報編集委員会		③糖尿病の皮膚病変あれこれ～皮膚科専門医からのメッセージ～
24日 移動理事会		田村皮膚科
		院長 田村 啓彦 先生
講演会・その他		26日 学術講演会
7月6日 学術講演会		演題：生活習慣病、糖尿病の最近の話題
演題①糖尿病治療における配合錠の意義		
あきる台病院		
副院長 西木 俊一 先生		
演題②糖尿病治療の新しい流れ～CGMとインクレチン製剤の可能性を含めて～		
東京慈恵会医科大学		

- 講師：順天堂大学 循環器内科
准教授 伊藤 誠悟 先生
- 26日 糖尿病教室（管理栄養士による集団教室）
- 27日 学術講演会
演題：積極的脂質低下療法の意義について
- 講師：青梅市立総合病院
循環器内科
部長 清水 茂雄 先生
- 28日 日本医師会認定西多摩医師会産業医研修会

役員出張

- 7月17日 東京都医師会地区医師会医療廃棄物担当理事連絡会
- 20日 東京都医師会地区医師会長連絡協議会
- 20日 多摩ブロック会長協議会
- 27日 公立福生病院開放型病院運営委員会

【入会会員】

氏名 日下部 史郎
勤務先 (医社) 幹人会 菜の花クリニック
〃 ユニット菜の花
出身校 埼玉医科大学 平成6年3月卒

氏名 牧野 加織
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 日本大学 平成19年3月卒

氏名 居森 文和
勤務先 (医財) 良心会 青梅成木台病院
出身校大学 香川医科大学 平成14年3月卒

氏名 大塚 忠典
勤務先 (医社) 仁成会 高木病院
出身校大学 杏林大学 平成12年3月卒

【退会会員】

氏名 原 隆
勤務先 (医社) 幹人会 菜の花クリニック
〃 ユニット菜の花

氏名 杉田 馨里奈
勤務先 公立阿伎留医療センター

氏名 原田 三紀夫
勤務先 公立阿伎留医療センター

【新規開業】

氏名 安部 英雄
施設名 あべクリニック
所在地 あきる野市瀬戸岡459-11
出身校大学 日本大学 平成5年3月卒

【管理者変更】

(医社) 幹人会 菜の花クリニック
〃 ユニット菜の花
(新) 日下部 史郎
(旧) 原 隆

訂正とお詫び

平成24年7月号の広報日より「麻疹と風疹」の中で、麻疹風疹ワクチンは2歳から3歳の間と就学前に2回接種と記載されていますが、生後12月から生後24月に至るまでの間と就学前の誤りでした。

訂正し、お詫び申し上げます。

(広報部)



表紙のことば



『朝顔』

日本の夏を代表する花の一つです。ありふれた花ですが、近づいて見ると、赤紫から濃青へのグラデーションが意外と美しく、涼感を感じさせます。

福生市 田村啓彦

あ と が き



学会で新潟に行ってきました。年に一度、仙台にいる同級生とスケジュールを合わせて学会参加するのを開業以来続けていました。昨年は震災で同級生も被災したため延期となり、今回は2年ぶりの再会、さらに新潟にいる同級生とも連絡がついて、大学卒業後22年ぶりの感動の対面となりました。毎回、学会には数時間顔を出す程度で（専門医の学会参加票を提出するのみ？）学会参加とは名ばかりなのですが、学会に観光に同級生との再会と、個人的には今年も大満足で家路につきました。

松本 学

訂正とお詫び

7月号に掲載いたしました、大聖病院 宮川栄次先生の訃報に誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

(広報部)

訃 報

福生市 (医社) 大聖病院

宮川 栄次 先生

昭和5年10月24日生 享年81才



去る平成24年 6月12日 ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

お知らせ

事務局より **お 知 ら せ**

平成24年9月(8月診療分)の

保 険 請 求 書 類 提 出**9月7日(金)**

— 正午迄です —

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克巳先生による法律相談を
毎月**第3木曜日**午後2時より実施いたします。
お気軽にご相談ください。

- ◎相談日 8月は16日(木)
9月は20日(木)
- ◎場 所 西多摩医師会館和室
- ◎内 容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

社団法人 西多摩医師会

平成24年8月1日発行

会長 横田卓史 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428(23) 2171・FAX 0428(24) 1615

会報編集委員会 奥村 充
近藤 之暢 鹿兒島武志 鈴木 寿和 馬場 眞澄 菊池 孝
土田 大介 渡邊 哲哉 松崎 潤 湯田 淳 進藤 幸雄
松本 学

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22) 3047・FAX 0428(22) 9993

健康が 21世紀の扉を開く



命の輝きを見つめ続けて……
(株)武蔵臨床検査所

食品と院内の環境を科学する
F・S サービス

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 042-964-2621 FAX 042-964-6659

診療所向け電子カルテシステム



BMLには誇りと実績があります。

- ★日本全国のお客様をサポートしてます。
- ★全診療科に対応してます。
- ★多彩な入力ツールを用意してます
- ★多くの連動システムに対応してます
- ★オンライン請求に向けたレセ電算化に
全国で対応可能です。



BML 株式会社 **ビー・エム・エル**
埼玉第三営業所
TEL:049-232-0111